



全国コミュニティ財団協会 6th

# 同時開催

コミュニティ財団は本当に社会に応えられているのか。

## 一般社団法人 全国コミュニティ財団協会 第6回年次大会@愛知

日時 2020年2月8日(土) 13:30～17:00 (開場: 13:00～)

会場 日本福祉大学 東海キャンパス (愛知県東海市大田町川南新田 229 番地)

対象 当協会・会員及びコミュニティ財団に関心を持ってくださる方々

NPO・NGO・企業等の社会課題の解決やSDGs達成に取り組む民間組織、  
地域における域内循環・地域課題解決・SDGs等に取り組む都道府県・市町村の職員、  
地域での資金循環や地方創生に関心のある金融機関、助成財団、寄付者、  
その他、地域における資金循環や社会課題解決に関心のある方

参加費 3,000円 (終了後の懇親会参加費は別途 5,000円)

### 第1部

#### シンポジウム「組織の再生～あいちコミュニティ財団の事例からあらためて考える～」

13:30～ 開会挨拶・趣旨説明 山田 健一郎 (当協会 会長)

13:40～ 第2回全国地域貢献顕彰 表彰式

14:00～ シンポジウム 「組織の再生 ～あいちコミュニティ財団の事例からあらためて考える～」

●話し手: 戸枝 陽基 ((公財) あいちコミュニティ財団 常務理事)

○聴き手: 石原 達也 (当協会 常務理事)

### 第2部

#### 分科会「コミュニティ財団は社会に応えられているのか」

##### 分科会 A (休眠預金とガバナンス)

#### 休眠預金という誰のものでもないお金を社会に課題解決の実現として還せるか。

休眠預金の活用に関してその資金をテーマや地域にあわせて適切に活用する資金分配団体の募集が行われ、いくつかのコミュニティ財団もその役割を得ました。各地に様々な課題がある中、コミュニティ財団は地域ニーズに即して効果的な取り組みを展開できるのか。各地の計画や今後について共有します。(代表者・プログラムオフィサー向け)

●事例提供者: 高橋 潤 ((公財) 長野県みらい基金 理事長)  
小阪 亘 ((公財) みらいファン沖縄 代表理事)

○モデレータ: 有井 安仁 (当協会 理事)

#### 地域社会と寄付者に信頼されうる組織体制を構築できるか。

寄付者にとって寄付を預けるコミュニティ財団が信頼に足りうるかは前提条件とも呼べることであり、それがなければ事業は始まらない。組織運営、資金管理、助成管理などコミュニティ財団を支える基礎となる部分について協会による第三者認証の仕組みも含めその大切さと具体的な取り組みを共有します。(事務局長等の実務者向け)

●事例提供者: 戸枝 陽基 ((公財) あいちコミュニティ財団 常務理事)  
鈴木 祐司 ((公財) 地域創造基金さなぶり 専務理事)

○モデレータ: 可児 卓馬 ((公財) 京都地域創造基金 専務理事)

##### 分科会 B (災害とコミュニティ)

15:00

#### 災害時における現場のニーズに即して支援金を仲介する役割を果たせるか。

各地で発生した集中豪雨、台風 15 号、19 号などの被災地に所在するコミュニティ財団による基金立上げによる支援金の募集と助成による支援について、現地に所在する組織だからこそその取り組みとそのポイントを共有します。

●事例提供者: 志村 はるみ 「2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金」  
山崎 庸貴 「ふくしま台風 19 号災害支援基金」  
山田健一郎 (当協会 会長・「佐賀災害基金」)

○モデレータ: 石原 達也 (当協会 理事)

16:00

#### 地域に根差した社会装置としてコミュニティの発展 (development) に寄与できるか。

これまでコミュニティ財団は市町村域をカバーする範囲として設立されるケースが多かった中で、近年は市町村域やニュータウン単位をカバーする範囲とするなど、より生活圏、暮らしの範囲に即したコミュニティ財団が誕生しています。今後のコミュニティ財団のあり方を考える上でも重要なこの動きについて共有します。

●事例提供者: 宝楽 陸寛 (泉北ニュータウンでのコミュニティ財団)  
村上 尚実 (島根県雲南市でのコミュニティ財団)

○モデレータ: 石原 達也 (当協会 常務理事)

一般社団法人 全国コミュニティ財団協会 第6回年次大会@愛知のお申込は、右のQRコードから▶▶▶▶  
あいちコミュニティ財団総括シンポジウムのお申込みは、前面からお願いします。

